



Welcome to Iwate University

岩手大学ダイバーシティ人材採用パンフレット



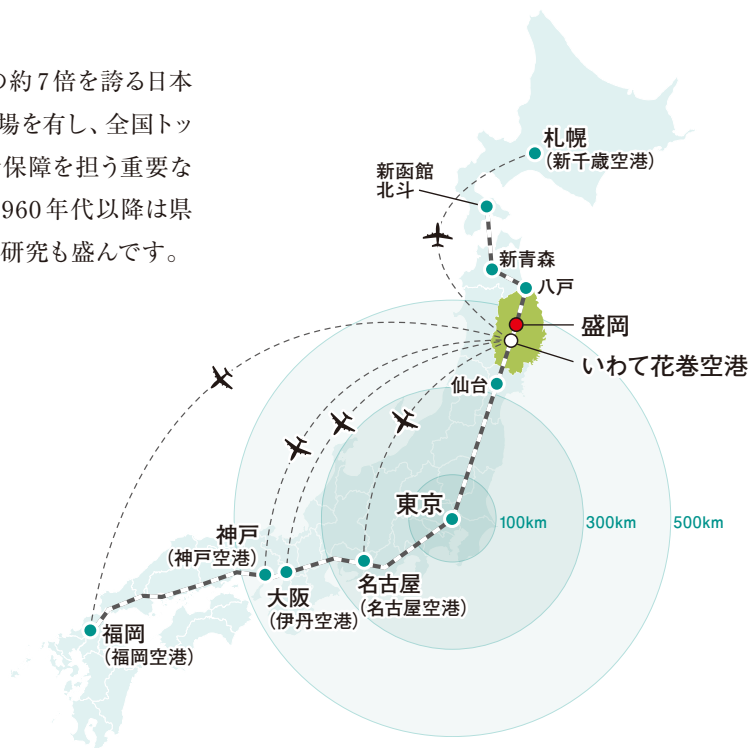
岩手の基本情報

岩手県は、自然豊かな北東北地方に位置し、面積は東京都の約7倍を誇る日本で二番目に大きい都道府県です。広大な農地・森林、豊富な漁場を有し、全国トップレベルの食料自給率と生産量を誇ります。日本の食料安全保障を担う重要な地域として、戦前より国の農業研究の拠点が置かれました。1960年代以降は県南を中心に、工業団地造成にも力が注がれ、産学連携・共同研究も盛んです。

盛岡市について

盛岡市は岩手県の内陸部、北上盆地のほぼ中央部に位置する県内最大の都市です。盛岡市の中心部にある盛岡駅は、北東北の玄関口として東北新幹線や秋田新幹線などと接続。県南の花巻市にある「いわて花巻空港」までは車でおよそ 45 分程度と首都圏、関西圏へのアクセスも良好です。盛岡市は多くの都市機能が集まっているコンパクトシティで、暮らしやすい生活環境が整っています。岩手大学のある盛岡市上田地区は子育て環境も充実。学内に保育スペース「ばるんひろば」も完備され、近隣の保育園も待機児童が少なく、安心して子育てできる環境が整備されています。

岩手銀行赤レンガ館



新幹線（盛岡駅より）

	所要時間
仙 台	約40分
東 京	約2時間10分
名古屋	約3時間45分

飛行機（いわて花巻空港より）

	所要時間
札幌（新千歳）	約1時間
大阪（伊丹）	約1時間30分
福 岡	約1時間55分

※いわて花巻空港から盛岡駅まで
高速バス 約45分

盛岡の春夏秋冬

春



米内浄水場のしだれ桜。約30本のヤエベシダレを眺めながらお花見ができます



夏

盛岡さんさ踊り—
三ツ石伝説を起源とする世界一の太鼓パレードで彩る夏祭り。

秋



紅葉美しい高松の池から望む岩手山

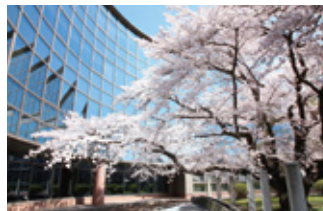
冬



「盛岡城跡公園」の冬景色。かつて不来方（こずかた）城跡と呼ばれていた市民憩いの場

岩手大学について

盛岡市に本部を構える国立大学法人岩手大学は、盛岡駅から北へ約2キロという市街地にありながら、緑に囲まれた広大な自然公園を思わせるキャンパスとなっています。その中に5学部及び教育研究支援施設が集まっています。戦前に設立された盛岡師範学校、盛岡高等農林学校、盛岡高等工業学校の3つの学校を前身に持つ歴史ある大学です。地域における知の府として、国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成も目指しています。



図書館前



学生センター(教育棟)



農学部農業教育資料館

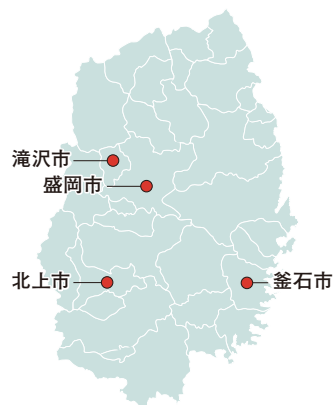


北水の池

基本情報

学部	人文社会科学部、教育学部、理工学部、農学部、獣医学部
在籍数 2025年 5月1日 現在	学部学生 4,619名 (男性2,784名／女性1,835名) 大学院学生 876名 (男性623名／女性253名) 教員 385名 (男性294名／女性91名) 職員 401名 (男性179名／女性222名)

盛岡キャンパス(本部キャンパス)には5学部が集結。本部キャンパスと北上市には岩手大学金型技術研究センターが置かれ、産学官で連携し運営。日本の大学で最初の金型技術研究センターです。また本部盛岡市に隣接する滝沢市、沿岸の釜石市には栽培や実験、研究ができる充実したフィールドがあります。



周辺の暮らし



子どもの教育環境

- 1km圏内に保育園、認定こども園が複数あります
- 上田小学校
大学から徒歩約10分(750m)
- 上田中学校
大学から徒歩約14分(1km)
- 県立盛岡第一高等学校
大学から徒歩約5分(400m)



買い物

スーパーやコンビニは大学周辺に複数あり、市場や産直もたくさん。駅からは大型商業施設行きのバスもあります



病院

- 岩手県立中央病院
大学から徒歩約13分(900m)
- 個人病院も充実
(産婦人科、小児科、内科など徒歩圏内に複数あり)



ダイバーシティの取組

岩手大学では2009年に男女共同参画推進宣言（学長宣言）を行い、2013年からは宣言が掲げる行動指針を具体化する個別の取組を定めた「岩手大学男女共同参画行動計画」に基づきダイバーシティを推進してきました。女性や若手、海外出身など多様な視点を持つ研究者が能力を十分に発揮できるよう、学び、働きやすい環境づくりのために以下のような取組・活動をしています。

ワーク・ライフ・バランス支援

- ワーク・ライフ・バランス／キャリア相談室の開室
- 病児・病後児及び休日勤務時の保育料の補助
- 職員が産前・産後休暇及び育児休業取得時の次世代育成支援職員の採用

※この他にも出産及び育児に関わる休暇等の学内支援制度が充実しています！

鷹觜テル賞

優れた研究活動等を行っている本学の女性大学院生を学長が表彰する「岩手大学優秀女性大学院生学長表彰」を実施しています。2021年度より本表彰の通称を「鷹觜テル賞」としました。



鷹觜テル先生

鷹觜テル（1921～2000）は、江刺市（現・奥州市）に生まれ、本学の前身のひとつ岩手師範学校女子部の教員となり、本学で初の女性助教授となった研究者です。

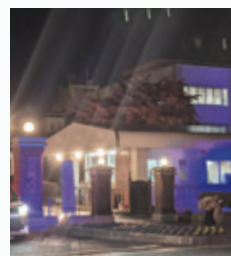
ダイバーシティ理解醸成のための啓発活動

岩手大学では2021年に「岩手大学性の多様性（LGBT／SOGI）に関する対応ガイドライン」を制定しました。自認する性に基づく通称名の使用を可能にし、相談窓口の設置等も行いました。

また、お互いを尊重し合えるキャンパスづくりを目指し、誰でも利用できる多目的トイレの整備をはじめ、レインボー・ライトアップ（性の多様性）、パープル・ライトアップ（性暴力防止）、ブルー・ライトアップ（発達障害への理解）などの取組を行っています。



性の多様性ガイドラインのブックレット



パープル・ライトアップ

いわて女性リーダー職研究者ネットワーク

女性上位職ならではの悩みや課題を共有し、女性研究者が働きやすい環境整備につなげることを目的にしたネットワークです。県内で働く女性研究者が個人で参加できます。

岩手大学におけるダイバーシティ推進の4つの柱



研究者をサポートする制度について

岩手大学では研究者をサポートするさまざまな制度を整備しています。そのうちのいくつかをご紹介します。

若手・女性・海外からの研究者をサポート

岩手大学では、若手・女性・海外出身の研究者が本学で良好な研究成果をあげていくために、本学への定着、海外渡航、PI力向上、研究時間確保などに関する、さまざまな支援を行っています。

「岩手大学研究者支援人材バンク」ウェブサイトでは、本学の研究者が研究支援者などを探す際の情報を提供しています。また、「IVS(国際客員研究員サポートセンター)」のウェブサイトでは、本学で研究滞在する外国人研究者、在外研究のために海外へ渡航する本学研究者、およびその家族をサポートするための情報提供を行っています。



研究者支援人材バンク



IVS(国際客員研究員サポートセンター)

子育て中の研究者をサポート

教職員や学生の子育てと仕事や学業の両立を応援するため、上田キャンパスの学生センター棟に、2010年から学内保育スペース「ばるんひろば」を開室しています。トイレや授乳室、流し台などを整えています。本学の教職員や学生とその家族であれば、例えば以下のような用途で利用できます。

- ・お子さんやお孫さんの保育
- ・妊娠中や生理中の体調不良時の休憩
- ・保育中の授乳・搾乳
- ・学会や研究会の際の託児スペースとして
- ・ワーク・ライフ・バランスに関する相談



ばるんひろば

子育て中あるいは家族を介護中の研究者を対象に、研究継続や研究時間確保のために研究支援者・補助者を配置する支援制度や、病児病後児および休日勤務時の保育支援制度もあります。性別を問わず申請できるので、子育て世代の男性教職員も利用しています。

世帯が分かれて暮らす研究者をサポート

本学での勤務のために日常的に配偶者等と住まいを別にせざるを得ない研究者を対象に「両住まい手当」制度を設けています。この両住まい手当は、岩手大学に赴任する際、介護や子の養育の都合上やむを得ず配偶者と別居することになる教員の申請に基づき、性別を問わず支給されます。赴任に伴う生活体制再構築期間の支援として、支給は3年間(36カ月)を上限としています。

岩手大学の女性研究者支援事業

岩手大学におけるダイバーシティ推進の取組は、2009年の「岩手大学男女共同参画推進宣言」に始まります。この宣言の考え方に基づき、これまで4つの女性研究者支援事業に取り組んできました。

2010-2012年度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業女性研究者支援モデル育成「共生の時代を拓く、いわて女性研究者支援」(S評価)

2013-2015年度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業女性研究者研究活動支援事業(拠点型)「いわての復興に貢献する女性研究者支援」(S評価)

2016-2021年度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」(中間評価S評価)

2022-2027年度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)「I.W.A.T.E. 1 in 3 女性リーダー職研究者倍増プラン」

本学の女性研究者に聞きました！

本学の女性研究者に岩手大学のいいところや地域のおすすめグルメについてアンケートを実施しました。

Q.岩手大学のいいところを教えてください



学生センター棟の中庭

キャンパスが広くて
緑が多く、
散歩できるゾーンが豊富



教育学部
A先生

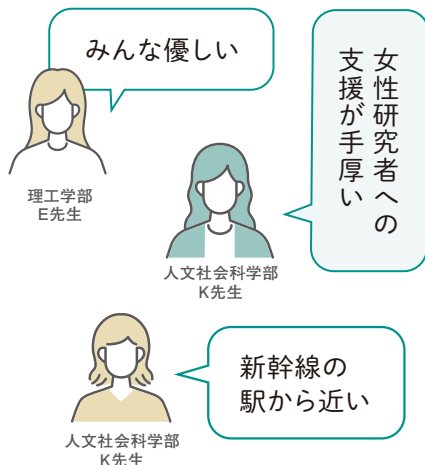


盛岡市産学官連携研究センター
(コラボMIU)ロビー

地域連携や
地域貢献が
できる
取組がある



農学部
Y先生



みんな優しい

女性研究者への
支援が手厚い

新幹線の
駅から近い



図書館

図書館と情報基盤センター、
外部資金獲得の
サポート体制が充実している



教育学部A先生



正門

一見おとなしそうな印象でも、
胸に熱い思いを持ち、
とても真面目な気質で、
ひたむきに目標に向かって
頑張っている学生たち



教育学部
F先生



構内を歩く学生

Q.地域のおすすめグルメを教えてください

岩手大学はこのような地域の
農水産物の品種改良や栽培技
術の向上の研究にも協力して
います。学生の学内カンパニー
による商品開発も盛んです。



前沢牛、雫石牛などの
ブランド牛



三陸の新鮮な海産物



クラフトビール



種類豊富な
岩手のリンゴ

本学の女性研究者インタビュー

農学部 松木 佐和子 先生



Q.岩手大学を研究のベースとしたきっかけは何ですか？

私は東京都出身ですが、北海道で修士課程、博士課程、ポスドク時代を過ごし、そこで北方林に多いカバノキ属樹木の研究を行っていました。このため、本州でもカバノキ属樹木が多くみられる自然豊かなフィールドで研究したいという

希望があり、岩手県には縁もゆかりもありませんでしたが、岩手大学のポストに応募しました。

Q.岩手での子育てはいかがですか？

現在、盛岡市内で働いている夫と二人で6歳と4歳の娘たちの子育てをしています。私も夫も東京都出身なので、近くに家族や親戚はいないのですが、岩手県での子育てをとても楽しんでいます。

産休・育休は3年間ほど取得しましたが、その間も自治体の子ども支援や地域の活動に参加し、仕事関係だけでは築けなかった人との繋がりができました。この時得たご縁は職場復帰した今でも続いています。また、盛岡市やその周辺地域には人混みを避けて小さな子どもとゆったり安心して遊べる場所が多く、地

域の方々も優しく、子育て環境には大変満足しています。

Q.どんな趣味をどのように楽しんでいますか？

子育てが始まってからレッスンは中断していますが、趣味として歌を楽しんでいます。岩手県に来てからはジャズボーカルのレッスンを始め、友人達とのライブ活動等を楽しんでいました。この地域は音楽活動が盛んで、様々なジャンルのライブやコンサートがあります。また、山歩きや温泉も好きですが、周辺には半日あれば車で行ける穴場スポットが沢山あります。子どもが産まれて持ち家で暮らすようになってからは、庭での野菜作りや薪ストーブ生活を家族で楽しんでいます。街中からそう遠くない場所でも、季節の移り変わりを自然から感じることができます。今住んでいる住宅街ではウグイス、カッコウ、キツツキ類など様々な野鳥、時にはカモシカにも出会えます。

(2023.1)

Q.岩手大学の研究環境はどうですか？

学内には研究支援・産学連携センターがあり、液体窒素、液体ヘリウムの供給、各種分析装置のラインアップは比較的充実しており、おおよそ学内で事足ります。高度試作加工センターがあり、工作設備の利用は勿論のこと、実験に必要な簡単な治具などの加工依頼ができるので大変助かっています。地方大学の懐への北風が冷たく吹きすさぶ中、基盤研究経費は減らさないぞという本学の考えは、他大学よりも勝っていると思います。

Q.国内外の学会参加・出張等についてはいかがですか？

本学は盛岡駅まで徒歩約20分とアクセスもよく、新幹線に乗ってしまえば仙台駅まで約40分、東京駅まで約2時間10分というように、意外と目的地へのアクセスがよいです。私はNIMS(国立研究開発法人物質・材料研究機構)と共同研究をおこなっており、学生と日帰りにつくば市へ出

張します。朝7時頃の新幹線に乗ると、つくば市に10時前に到着します。打合せ、実験などしても夜には自宅に戻れます。また、長距離移動には飛行機を使います。最寄りの空港は花巻空港ですが、仙台空港へのアクセスもよいので、目的地や時間帯に応じて利用する空港を使い分けています。海外出張をするときには仙台空港から成田経由で出国しています。盛岡市に住んでいることで学会参加・出張に不便を感じることはありません。

Q.岩手大学のダイバーシティ環境づくりについて、どう感じていますか？

ダイバーシティに関する取組は骨の折れる仕事です。しかし、本学の学生や教職員そして地域の方々が、自分らしく、

のびのびとやりたいことをできるように環境づくりを目指して日々試行錯誤しています。ダイバーシティ推進室が中心となって、さまざまな取組を行うことで、全学的にダイバーシティ環境実現に前向きになったと感じています。多様性が大切にされる環境を目指して、今後も取り組んでいきたいですね。

(2023.2)

理工学部 中山 敦子 先生





気 にな る 岩手の冬の過ごし方

「東北の冬は雪が多く寒さが厳しくて生活しづらい」というイメージを持っていますか？ 岩手の冬は確かに寒いけれど、室内はどこも暖かく快適に過ごせる工夫がされています。盛岡の積雪量はそれほど多くありませんし、年に数回ある大雪の日も対策がしっかりされているので安心です。



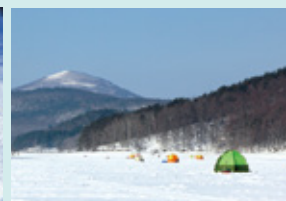
雪対策について

車のスタッドレスタイヤ交換はガソリンスタンドで簡単にできます。たくさん雪が降った日には市町村が除雪をしてくれます。そのため路線バスが運休することはほとんどありません。



冬ならではの楽しみも

県内には複数のスキー場があるので、ウィンタースポーツがたっぷり楽しめます。盛岡で一番寒いと言われる岩洞湖でワカサギ釣りに挑戦してみるのもいいかも。暖かい温泉宿で雪を見ながら入る露天風呂も最高です！



岩手大学は、女性、若手、外国人など多様な研究者を積極的に採用します。
気になること等あれば、お気軽にお問合せください。



岩手大学
教員公募情報

I N F O R M A T I O N

岩手大学 ダイバーシティ推進室

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8
Tel : 019-621-6998 / Fax : 019-621-6999
Mail : equality@iwate-u.ac.jp
Web : <https://diversity.iwate-u.ac.jp>
X(旧Twitter) : @IwateU_Equality



公式ウェブサイト



X(旧Twitter)

岩手大学

<https://www.iwate-u.ac.jp>



岩手県

<https://www.pref.iwate.jp>



盛岡市

<https://www.city.morioka.iwate.jp>

